

アートフィールドウォーキングガイド

2024 vol.3 (通巻 467号)

ギャラリー

3

GALLERY



【私の10点】 池田良二

〔海老塚耕一の作家対談・鼎談 第3回〕

《解答のない問い、そしてあるいは…》

ゲスト・小高里枝子×キム・ソウル、司会・海老塚耕一

3月の全国美術展【美術館／百貨店／画廊】スケジュール&マップ

吉川 民仁「景色の声音」展



「秋涼」182 × 227 cm キャンバス・油彩

2月24日→3月24日
ギャラリーためなが 東京都中央区銀座7-4-5

吉川民仁（1965年千葉県生まれ）は、2018・2022年ギャラリーためながパリ店での個展で高評価を得て、現在、国内外で活動を続ける。四季のうつろい、風の動きや光といった自らが実際に目にし、体感した自然の一瞬の姿にインスピレーションを得る。その眼差しが注がれた作品は、詩情豊かで優美な色彩に溢れている。「色彩の発する声音を聴き、画面と対話しながら、その枠を超えて広がる未知なる景色を描きだしたい」と語る作家ならではの視点が確認できるだろう。



粟津潔展 異種交配するデザイン

粟津潔（1929 - 2009）は、日本を代表するグラフィックデザイナーのひとり。宇部市が1961年から開催する野外彫刻展「UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）」のポスターデザインを1973年から2005年まで担当した。今展では、粟津潔が手掛けた現代日本彫刻展ポスター全41点と関連作品17点を通して、ユニークなデザインが生まれた時代背景や美しくカラフルな仕上がりを支えた印刷技術等を紹介する。

2月9日→3月17日
ときわ湖水ホール アートギャラリー
山口県宇部市宇部 254